



● 講 師 ●

村上 智彦 先生

Tomohiko Murakami

Profile [プロフィール]

1961年北海道生まれ。2001年9月、北海道瀬棚(現せたな)町立診療所長として、日本初の肺炎球菌ワクチン公費助成を実現。

同町で予防医療にとりくみながら介護・福祉・医療が連携して住民の日常を支える体制づくりに奔走。町の老人医療費は大幅に減少した。

2007年、全国一の高齢化率、財政破綻のまち夕張に移住。2009年7月「若月賞」受賞。

2012年5月 NPO法人 ささえる医療研究所 理事長就任。

予防と在宅医療、他職種連携を重視し、「支える医療」をキーワードに新たな地域医療の再生とまちづくりに取り組む。

ナカノ在宅医療連携拠点センターの 開設理念

1

医療法人 ナカノ会(ナカノ在宅医療クリニック、ナカノ訪問看護ステーション)で開業以来過去13年間構築してきた多職種連携で機能する地域連携ネットワーク型在宅医療システムで得た経験、知識を、鹿児島地域全体に拡充を図り、鹿児島市内での地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療連携拠点として機能する。

2

積極的なICTの活用により、鹿児島市内の鹿児島市民と医療・介護サービス提供者、行政の情報交換、情報共有を図り、教育、啓蒙支援を行うとともに、多職種連携で機能する効率的な医療・介護サービスシステムの構築を目指す。

3

在宅医療・介護の研究、教育支援機関として機能する。

第3回 勉強会

日時：11月17日(土) / 場所：鹿児島市医師会館 2階大会議室 / 講師：伊関友伸先生 (グループワーク)